

白石高校七ヶ宿校生が全国の舞台へ

6月21日に宮城県貞山高校体育館で開催された女子バレーボール競技で、七ヶ宿校女子バレーボール部が、見事2年連続の優勝を果たし全国大会出場の切符を手に入れました。

相手は仙台凶南萩陵高校、第1セットは25対17で七ヶ宿校が先取し、試合の主導権を握ったかに思えました。しかし、第2セットは22対25で凶南萩陵高校に奪い返されてしまいました。「悔いの残らない試合を」と誓って臨んだ最終セット、一進一退の展開の末、いよいよ七ヶ宿校がマッチポイントを迎えました。3年日下愛美さんのサーブが決まり、25対21、セットカウント2対1で凶南萩陵高校を下し優勝を決めました。

キャプテンの山家瞳さんは「いろいろな人の助けがあってこそ行ける全国大会、応援に来てくれた先生方や一緒に戦った仲間感謝したい。全国大会でも1人1人が成長できるように頑張ります」と大会を振り返り決意を新たにしていました。全国大会は、8月4日～7日に神奈川県平塚市で開催されます。



出場選手

- 山家 瞳 (3年 白石中出身)
- 日下愛美 (3年 七ヶ宿中出身)
- 泉 美穂 (2年 七ヶ宿中出身)
- 高橋美貴 (2年 七ヶ宿中出身)
- 丹野玲奈 (2年 白石東中出身)
- 四竈 麗 (1年 福島・梁川中出身)

6月28日に仙台市陸上競技場で開催された陸上競技、七ヶ宿校からは2名の選手が出場しました。男子円盤投げと走り幅跳びに出場した3年生の岩間優介君(仙台市・幸町中出身)が、円盤投げで24m19cmを投げ、2位以下に大差を付け見事優勝しました。走り幅跳びでは2位に入賞しました。中学時代は野球をやっていたという岩間君、抜群の運動能力で2種目での全国大会出場を決めました。

男子走り高跳びに出場した2年生の我妻直人君(白石東中出身)も2位に入賞しました。1m65cmを跳び1位と同記録でしたが、試技数の差で惜しくも優勝を逃しました。中学から陸上をやっていた我妻君、県大会の悔しさは全国の舞台で晴らしてくれるでしょう。全国大会は8月14日～16日に国立競技場で開催されます。



岩間優介君



我妻直人君

■編集と発行 七ヶ宿町総務課 宮城県刈田郡七ヶ宿町字関 126 (☎ 0224 - 37 - 2194)

■印刷 (株)神尾印刷所 仙南営業所

ホームページ : <http://www.town.shichikashuku.miyagi.jp>